



大洲高校 PTA 月報

令和8年2月号

会員寄稿

「チームワーク」

PTA会長 河野 誠

私が大洲高校PTA役員に参加したきっかけは、先輩役員の方から「一緒に活動してみませんか」と声をかけていただいたことでした。PTA活動は私にとって初めての経験でした。当初は不安もありましたが、文化祭での販売活動や研修旅行などを通じ、役員の皆さんと協力する中で、自然と連帯感が生まれていきました。

このような経緯の中、今年度PTA会長を拝命しました。大洲農業高校との合併に向けた協議もあり、学校・PTA双方にとって重要な節目の年度でした。責任の重さに迷いもありましたが、「役員の皆さんと協力して運営すれば大丈夫」と考え、お引き受けしました。

その後、藤樹祭・体育祭・文化祭といったPTA行事が集中する時期に、仕事の関係で約2か月半、東京の大学へ研修に行くこととなりました。会長不在という状況にもかかわらず、副会長をはじめPTA役員の皆様の協力により、すべての行事を無事終えることができました。改めて、支え合うPTA活動の意義を強く実感しています。

私事ですが、この研修では、大学卒業から20年を経て、再び学生として学ぶ機会を得ました。最新の講義や演習に触れる中で、「学びは年齢や立場を問わず、自分の可能性を広げ続けるものだ」と感じました。

また、演習では班員と協力し、一つの課題を作り上げていく過程を通して、ここでもチームで支え合うことの重要性を体験しました。

研修期間中支えてもらった、家族とPTA役員の皆さんにこの場を借りてお礼申し上げます。

高校生の皆さんには、これから進学や就職といった人生の大きな選択を迎えます。将来に迷うことがあっても、学び続ける姿勢があれば乗り越えることができますし、その時々のチームで支え合うことが重要になってきます。全員が自分の希望する目標や進路に進めるよう、大洲高校の生徒一丸となって団結し、頑張ってください。

保護者の皆様には、ぜひその挑戦を温かく見守り、支えていただければと思います。皆さんが自らの目標に向かって歩み出されることを、心より願っております。